

(12)特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2004年4月8日 (08.04.2004)

PCT

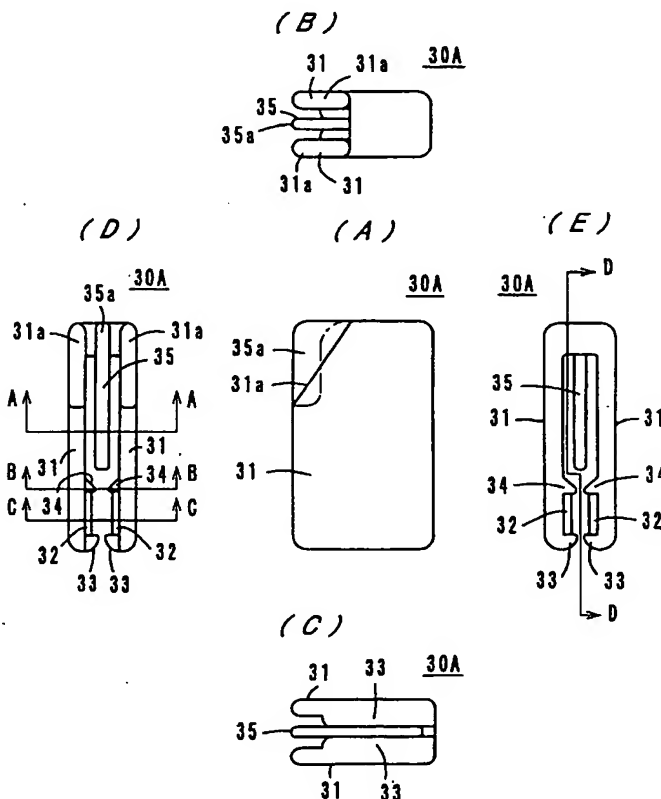
(10) 国際公開番号
WO 2004/028914 A1

- (51) 国際特許分類: B65D 33/25 (74) 代理人: 森下 武一 (MORISHITA, Takekazu); 〒541-0054 大阪府 大阪市中央区 南本町4丁目2番18号 サンモビル Osaka (JP).
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2002/010133
- (22) 国際出願日: 2002年9月27日 (27.09.2002)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 石崎資材株式会社 (ISHIZAKI SHIZAI CO., LTD.) [JP/JP]; 〒582-0026 大阪府 柏原市 旭ヶ丘3丁目15番43号 Osaka (JP).
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 石崎 昭 (ISHIZAKI, Akira) [JP/JP]; 〒639-0254 奈良県 香芝市 関屋北3丁目6-12 Nara (JP).
- (81) 指定国 (国内): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NO, NZ, OM, PH, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, SL, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (広域): ARIPO 特許 (GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ特許 (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, SK, TR), OAPI 特

(続葉有)

(54) Title: CLOSING-DEDICATED SLIDER AND OPENING AND CLOSING SLIDER OF RESIN FILM BAG

(54) 発明の名称: 樹脂フィルム製袋の閉止専用スライダ及び開閉用スライダ



(57) Abstract: A closing-exclusive slider (30A) of a zipper of a plastic bag having the zipper formed of projected parts and recessed parts engageable and disengageable with and from each other installed on the inner opposed surfaces of a pair of flap parts positioned at the opening part of the resin film bag, comprising a pair of side leg pieces (31) and (31) positioned on the outside of the flap part and an intermediate leg piece (35) positioned on the inside of the flap part and having a length not reaching the zipper, wherein the side part of the intermediate leg piece (35) is exposed to form an exposed portion (35a) by forming partial cutouts (31a) and (31a) in the side leg pieces (31) and (31), and a slit holding the flap part by the intermediate leg piece and side leg pieces may be formed in an area ranging from the upper part to one side part of the slider.

(57) 要約: 樹脂フィルム製袋の開閉口に位置する一対のフラップ部の対向する内面に、互いに嵌合/解除可能な凸部と凹部とからなるジッパーを設けたプラスチック製袋の該ジッパーの閉止専用スライダ30A。このスライダ30Aは、前記フラップ部の外側に位置する一対の側脚片31、31と、フラップ部の内側に位置して前記ジッパーには届かない長さの中脚片35とを備え、かつ、側脚片31、31に部分的な切欠き31a、31aを形成することにより、中脚片35の側部が露出して露出部分35aとされている。スライダの上部から一側部にわたって中脚片と側脚片とでフラップ部を挟み込むスリットが形成されていてもよい。



許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR,
NE, SN, TD, TG).

2文字コード及び他の略語については、定期発行される
各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語
のガイダンスノート」を参照。

添付公開書類:

— 国際調査報告書

明 細 書

樹脂フィルム製袋の閉止専用スライダ及び開閉用スライダ

5 技術分野

本発明は、閉止専用スライダ及び開閉用スライダ、特に、樹脂フィルム製袋の開口部に設けたジッパーを閉止するために使用されるスライダ及び該ジッパーを開閉するために使用されるスライダに関する。

10 背景技術

従来、樹脂フィルム製袋として、第10図に示す袋1が知られている。この袋1は樹脂フィルムを溶着して側部をカット、あるいは溶断したものであり、開口部2に位置する一対のフラップ部3、3の対向する内面に、互いに嵌合／解除可能な凹部8aと凸部8bとからなるジッパー8

15 を設けたものである。なお、ジッパー8の凹凸部8a、8bの構造、形状には種々のものがある。

この種のプラスチック製袋1のジッパー8を開閉するには、(1)フラップ部3、3を指でつまんで開放し、閉止は専用のスライダで行う、(2)一方向にスライドさせることで閉止し、他方向にスライドさせることで

20 開放する開閉用スライダを使用する、(3)開閉共に指で行う、の3通りの方法がある。

前記(1)で使用される閉止専用スライダの一例を第11図に示す。この閉止専用スライダ10は、前記フラップ部3、3の外側に位置する一対の側脚片11、11と、フラップ部3、3の内側に位置してジッパ

25 ー8には届かない長さの中脚片15とを備えている。このスライダ10がいずれかの方向にスライドすることにより、側脚片11、11の内側

に形成した凸部 1 2, 1 2 がジッパー 8 の凹凸部 8 a, 8 b を互いに押圧して嵌合させる。中脚片 1 5 はこのスライダ 1 0 が開口部 2 の端部 2 a に到達したときにスライダ 1 0 自体が側方に離脱してしまうのを防止するストッパとして機能する。側脚片 1 1, 1 1 の内側に形成した突起 1 3, 1 3 はスライダ 1 0 の上方への抜け止めを図っている。

ところで、この種の閉止専用スライダ 1 0 にあっては、袋 1 の開口部 2 から外れないように構成されてはいるが、ある程度の力が作用すると外れてしまう。この場合、スライダ 1 0 を開口部 2 に装着し直すことは極めて困難である。即ち、中脚片 1 5 をフラップ部 3, 3 の内側に挿入する必要があるが、フラップ部 3, 3 は側脚片 1 1, 1 1 で押さえられるため、専用の治具を用いることなく手で挿入することは実質上無理である。

また、閉止を開始する際に、開口端部 2 a にセットされているスライダ 1 0 をスムーズにスライドさせるには、端部 2 a を指でつまんで押さえればよい。しかし、袋 1 が溶断袋であると端部 2 a に指でつまめる余裕がなく、閉止動作の開始がやっかいである。

一方、前記 (2) で使用される開閉用スライダとしては、本願発明者が既に提案したものが知られており (特許第 2 8 7 1 6 7 1 号公報参照)、それを第 1 2 図に示す。この開閉用スライダ 2 0 は、一对の側脚片 2 1, 2 1 と中脚片 2 5 とからなり、中脚片 2 5 にはジッパー 8 の凹部 8 a 及び凸部 8 b がそれぞれ嵌入される溝部 2 6 が形成されると共に、この溝部 2 6 の上下縁部に膨出部 2 7, 2 8 が形成され、かつ、溝部 2 6 に隣接して切欠き 2 9 が形成されている。また、側脚片 2 1, 2 1 の内側には切欠き 2 9 と対向する膨出部 2 2, 2 2 が形成されている。

この開閉用スライダ 2 0 は、“閉” 方向にスライドさせると、ジッパー 8 の凹凸部 8 a, 8 b が膨出部 2 2, 2 2 で押圧されて切欠き 2 9 に進

入し、互いに嵌合する。これにて、ジッパー 8 が閉止されることになる。一方、スライダ 20 を“開”方向にスライドさせると、凹凸部 8 a, 8 b が中脚片 25 で強制的に分離される。即ち、ジッパー 8 が開放されることになる。

- 5 ところで、この開閉用スライダ 20 にあっても、開放又は閉止を開始する際に、開口端部 2 a にセットされているスライダ 20 をスムーズにスライドさせるには、端部 2 a を指でつまんで押さえればよいのであるが、前述の如く、袋 1 が溶断袋であると端部 2 a に指でつまめる余裕がなく、開放動作及び閉止動作の開始がやっかいである。
- 10 そこで、本発明の目的は、樹脂フィルム製袋の開口部から外れた場合であっても容易に再装着可能な閉止専用スライダを提供することにある。
- 本発明の他の目的は、前記目的を達成すると共に、ジッパーの閉止動作をスムーズに開始することのできる閉止専用スライダを提供することにある。
- 15 本発明のさらに他の目的は、ジッパーの開放動作及び閉止動作をスムーズに開始することのできる開閉用スライダを提供することにある。

発明の開示

- 20 以上の目的を達成するため、第 1 の発明に係る閉止専用スライダは、樹脂フィルム製袋の開口部に位置する一対のフラップ部の対向する内面に、互いに嵌合／解除可能な凸部と凹部とからなるジッパーを設けたプラスチック製袋の該ジッパーの閉止専用スライダにおいて、前記スライダは、前記フラップ部の外側に位置する一対の側脚片と、フラップ部の内側に位置して前記ジッパーには届かない長さの中脚片とを備え、かつ、
- 25 スライダの上部から一側部にわたって前記中脚片と前記側脚片とでフラップ部を挟み込む一対のスリットが形成されていることを特徴とする。

第1の発明に係る閉止専用スライダにあっては、樹脂フィルム製袋の開口部から外れた場合であっても、スリットにフラップ部を挿入させると、中脚片がフラップ部の間に挿入された状態でフラップ部を中脚片と側脚片とでいわば挟み込んだ状態となり、スライダをほぼ90°強回転させることで、容易に再装着することができる。

さらに、第2の発明に係る閉止専用スライダは、樹脂フィルム製袋の開口部に位置する一対のフラップ部の対向する内面に、互いに嵌合／解除可能な凸部と凹部とからなるジッパーを設けたプラスチック製袋の該ジッパーの閉止専用スライダにおいて、前記スライダは、前記フラップ部の外側に位置する一対の側脚片と、フラップ部の内側に位置して前記ジッパーには届かない長さの中脚片とを備え、かつ、前記中脚片の側部が前記側脚片から露出していることを特徴とする。

第2の発明に係る閉止専用スライダにあっては、樹脂フィルム製袋の開口部から外れた場合であっても、中脚片の露出部分を樹脂フィルム製袋の開口部に位置する一対のフラップ部の間に挿入し、側脚部で前記フラップ部を挟み込みながらスライダをほぼ90°強回転させることで、容易に再装着することができる。

第2の発明に係る閉止専用スライダにおいては、例えば、側脚片を部分的に切り欠くこと及び／又は中脚片を側脚片より側方に突出させることによって、中脚片の側部を露出させることができる。

側脚片が部分的に切り欠かれていると共に中脚片が側脚片より側方に突出することにより中脚片の側部が露出している構成を採用すれば、中脚片の露出部分を樹脂フィルム製袋のフラップ部の外側から指でつまむことにより、袋の開口端部を固定してスライダによる閉止動作をスムーズに開始させることができる。

さらに、第3の発明に係る開閉用スライダは、樹脂フィルム製袋の開

口部に位置する一対のフラップ部の対向する内面に、互いに嵌合／解除可能な凸部と凹部とからなるジッパーを設けたプラスチック製袋の該ジッパーの開閉用スライダにおいて、前記スライダは、前記フラップ部の外側に位置する一対の側脚片と、フラップ部の内側に位置して前記ジッパーよりも袋の奥側まで延在する長さの中脚片とを備え、前記側脚片が部分的に切り欠かれていると共に前記中脚片が側脚片より側方に突出することにより中脚片の側部が露出していることを特徴とする。

第3の発明に係る開閉用スライダにあっては、側脚片が部分的に切り欠かれていると共に中脚片が側脚片より側方に突出することにより中脚片の側部が露出しているため、中脚片の露出部分を樹脂フィルム製袋のフラップ部の外側から指でつまむことにより、袋の開口端部を固定してスライダによる開放動作及び閉止動作をスムーズに開始させることができる。

15 図面の簡単な説明

第1図は本発明の第1実施形態である閉止専用スライダを示し、(A)は正面図、(B)は上面図、(C)は下面図、(D)は左側面図、(E)は右側面図、

第2図は前記閉止専用スライダの要部を示し、(A)はA-A断面図、

20 (B)はB-B断面図、(C)はC-C断面図、(D)はD-D断面図、

第3図は前記閉止専用スライダの再装着の様子を示す説明図、

第4図は本発明の第2実施形態である閉止専用スライダを示し、(A)は正面図、(B)は上面図、(C)は下面図、(D)は左側面図、(E)は右側面図、

25 第5図は本発明の第3実施形態である閉止専用スライダを示し、(A)は正面図、(B)は斜視図、

第 6 図は本発明の第 4 実施形態である閉止専用スライダを示し、(A) は正面図、(B) は側面図、(C) は斜視図、

第 7 図は本発明の第 5 実施形態である閉止専用スライダを示し、(A) は正面図、(B) は側面図、

5 第 8 図は第 7 図に示したスライダの閉止動作開始時を示す説明図、

第 9 図は本発明の第 6 実施形態である開閉用スライダを示し、(A) は正面図、(B) は左側面図、(C) は右側面図、(D) は E-E 断面図、

第 10 図は樹脂フィルム製袋の一例を示し、(A) は斜視図、(B) は開口部の断面図、

10 第 11 図は従来 of 閉止専用スライダを示し、(A) は正面図、(B) は側面図、(C) は F-F 断面図、

第 12 図は従来 of 開閉用スライダを示し、(A) は正面図、(B) は左側面図、(C) は右側面図、(D) は G-G 断面図。

15 発明を実施するための最良の形態

以下、本発明に係る閉止専用スライダ及び開閉用スライダの実施形態について、添付図面を参照して説明する。

(第 1 実施形態、第 1 図～第 3 図参照)

第 1 図、第 2 図は本発明の第 1 実施形態である閉止専用スライダ 30
20 A を示す。このスライダ 30 A は基本的には第 11 図に示した従来 of 閉止専用スライダ 10 と同様の構成を有し、第 10 図に示した樹脂フィルム製袋 1 の開口部 2 に設けたジッパー 8 を閉止する機能を有し、さらに、開口部 2 から外れた場合に容易に再装着できる機能を付加したものである。

25 詳しくは、このスライダ 30 A は、樹脂フィルム製袋 1 のフラップ部 3, 3 の外側に位置する一対の側脚片 31, 31 と、フラップ部 3, 3

の内側に位置してジッパー 8 には届かない長さの中脚片 3 5 とを備えている。スライダ 3 0 A はいずれかの方向にスライドすることにより、側脚片 1 1, 1 1 の内側に形成した凸部 3 2, 3 2 がジッパー 8 の凹凸部 8 a, 8 b を互いに押圧して嵌合させる。中脚片 3 5 はスライダ 3 0 A が開口部 2 の一端部 2 a に到達したときにスライダ 3 0 A 自体が側方に離脱してしまうのを防止するストッパとして機能する。側脚片 3 1, 3 1 の内側に形成した突起 3 3, 3 3 はスライダ 3 0 A が開口部 2 から上方へ抜けることを防止するためのものである。また、突起 3 4, 3 4 はスライダ 3 0 A が必要以上に下方へ移動することを防止するためのものである。

このスライダ 3 0 A において、側脚片 3 1, 3 1 の一側部根元部分には三角形の切欠き 3 1 a, 3 1 a が形成されており、中脚片 3 5 の一側部根元部分がこの切欠き 3 1 a, 3 1 a から露出している。符号 3 5 a はこの露出部分を示す。

このように中脚片 3 5 の側部に露出部分 3 5 a を設けたのは、スライダ 3 0 A に強い外力が作用して袋 1 の開口部 2 から外れた場合、再装着を容易にするためのである。即ち、第 3 図 (A) に示すように、まず、スライダ 3 0 A を斜めに傾けた状態で、中脚片 3 5 の露出部分 3 5 a をフラップ部 3, 3 の間に挿入する。そして、第 3 図 (B) に示すように、スライダ 3 0 A を水平状態に回転させる。これにて、側脚片 3 1, 3 1 がフラップ部 3, 3 の外側に位置すると共に、中脚片 3 5 が先端部分までフラップ部 3, 3 の間に挿入される。さらに、第 3 図 (C) に示すように、スライダ 3 0 A を直立状態まで回転させる。これにて、いわばワンタッチでスライダ 3 0 A が袋 1 の開口部 2 に取り付けられたことになる。

このような再装着をより一層容易にするために、第 2 図 (D) に示す

ように、突起 3 3, 3 4 の一端部 3 3 a, 3 4 a は削り取られている。

なお、第 3 図で斜線を付した部分は袋 1 の側部溶着部分である。第 8 図の斜線を付した部分も同様に側部溶着部分である。

また、この第 1 実施形態であるスライド 3 0 A において、前記切欠き 5 3 1 a は必ずしも三角形形状である必要はなく、第 1 図 (A) に一点鎖線で示すような形状であってもよい。このような形状の切欠きを設けたスライドは、第 1 実施形態と以下に示す第 2 実施形態の中間形態であるともいえる。

(第 2 実施形態、第 4 図参照)

10 第 4 図は本発明の第 2 実施形態である閉止専用スライド 3 0 B を示す。このスライド 3 0 B は前記第 1 実施形態として示したスライド 3 0 A と基本的には同じ構成からなり、第 1 図、第 2 図と同じ部分には同じ符号を付し、重複した説明は省略する。

15 スライド 3 0 B において、前記スライド 3 0 A と異なるのは、スライド 3 0 B の上部から一側部にわたって中脚片 3 5 と側脚片 3 1, 3 1 とでフラップ部 3, 3 を挟み込む一対のスリット 3 6, 3 6 を形成した点にある。

このスライド 3 0 B にあつては、樹脂フィルム製袋 1 の開口部 2 から外れた場合であっても、第 3 図に示したのと基本的には同じ手順で再装着 20 することができる。即ち、開口部 2 の斜め上方からスリット 3 6, 3 6 にフラップ部 3, 3 を挿入させると、中脚片 3 5 がフラップ部 3, 3 の間に挿入された状態でフラップ部 3, 3 を中脚片 3 5 と側脚片 3 1, 3 1 とでいわば挟み込んだ状態となる。その後、スライド 3 0 B をほぼ 9 0° 強回転させることで、容易に再装着することができる。

25 (第 3 実施形態、第 5 図参照)

第 5 図は本発明の第 3 実施形態である閉止専用スライド 3 0 C を示す。

このスライダ 30 C は前記第 1 実施形態として示したスライダ 30 A と基本的には同じ構成からなり、第 1 図、第 2 図と同じ部分には同じ符号を付し、重複した説明は省略する。

5 スライダ 30 C において前記スライダ 30 A と異なるのは、中脚片 35 に突出片部 35 b を形成して側脚片 31, 31 より側方に露出させた点にある。この突出片部 35 b が前記スライダ 30 A の露出部分 35 a と同様の機能を発揮し、スライダ 30 B を袋 1 の開口部 2 へ再装着するのを容易にしている。

(第 4 実施形態、第 6 図参照)

10 第 6 図は本発明の第 4 実施形態である閉止専用スライダ 30 D を示す。このスライダ 30 D は前記第 1 実施形態として示したスライダ 30 A と基本的には同じ構成からなり、第 1 図、第 2 図と同じ部分には同じ符号を付し、重複した説明は省略する。

15 スライダ 30 D において前記スライダ 30 A と異なるのは、側脚片 31, 31 の両側部分に比較的大きな切欠き 31 c, 31 c を形成し、中脚片 35 の両側部を露出させた点にある。符号 35 c はこの露出部分を示す。このスライダ 30 D にあつては、露出部分 35 c をフラップ部 3, 3 の間にほぼ直交した状態で上方から挿入して袋 1 の開口部 2 へ再装着する。

20 (第 5 実施形態、第 7 図、第 8 図参照)

第 7 図は本発明の第 5 実施形態である閉止専用スライダ 30 E を示す。このスライダ 30 E は前記第 1 実施形態として示したスライダ 30 A と基本的には同じ構成からなり、第 1 図、第 2 図と同じ部分には同じ符号を付し、重複した説明は省略する。

25 スライダ 30 E において前記スライダ 30 A と異なるのは、側脚片 31, 31 の両側部分に切欠き 31 d, 31 d を形成すると共に、中脚片

35に突出片部35d, 35dを形成した点にある。この突出片部35d, 35dの露出面積は前記スライダ30A, 30C, 30Dよりも比較的大きい。

5 突出片部35dは前記スライダ30Aの露出部分35aと同様の機能を発揮し、スライダ30Eを袋1の開口部2へ再装着するの容易にしている。さらに、突出片部35dは、第8図に示すように、スライダ30Eを開口部2の端部2aに位置させてジッパー8を閉止する動作を開始する際、一方の手の指で突出片部35dをフラップ部3, 3の外側からつまみ、他方の手の指でスライダ30Eをつまんで矢印a方向にスライ
10 ドさせることにより、閉止動作をスムーズに開始させることができる。

溶断袋1にあっては、端部2aに指でつまむ余裕がないのであるが、このスライダ30Eでは比較的面積の大きな突出片部35dを設けることで、つまみ代を設けることができた。

(第6実施形態、第9図参照)

15 第9図は本発明の第6実施形態である開閉用スライダ40を示す。このスライダ40は基本的には第12図に示した従来の開閉用スライダ20と同じ構成からなり、第10図に示した樹脂フィルム製袋1の開口部2に設けたジッパー8を開放及び閉止する機能を有し、さらに、開放動作及び閉止動作をスムーズに開始できる機能を付加したものである。

20 詳しくは、このスライダ40は、樹脂フィルム製袋1のフラップ部3, 3の外側に位置する一対の側脚片41, 41と、フラップ部3, 3の内側に位置してジッパー8よりも袋1の奥側まで延在する中脚片45とを備えている。さらに、中脚片45にはジッパー8の凹部8a及び凸部8bがそれぞれ嵌入される溝部46が形成されると共に、この溝部46の
25 上下縁部に膨出部47, 48が形成され、かつ、溝部46に隣接して切欠き49が形成されている。また、側脚片41, 41の内側には切欠き

49と対向する膨出部42, 42が形成されている。

この開閉用スライダ40は、“閉”方向にスライドさせると、ジッパー8の凹凸部8a, 8bが膨出部42, 42で押圧されて切欠き49に進入し、互いに嵌合する。これにて、ジッパー8が閉止されることになる。

5 一方、スライダ40を“開”方向にスライドさせると、凹凸部8a, 8bが中脚片45で強制的に分離される。即ち、ジッパー8が開放されることになる。

このスライダ40において、側脚片41, 41の両側部分に切欠き41a, 41aが形成されていると共に、中脚片45に突出片部45a, 10 45aが形成されている。この突出片部45a, 45aは、前記スライダ30Eの突出片部35dと同様に、ジッパー8を開放する動作及び閉止する動作を開始する際に、突出片部45aをフラップ部3, 3の外側からつまむことでスライダ40の移動をスムーズに開始させることができる。

15 なお、本発明に係る閉止専用スライダ及び開閉用スライダは、前記実施形態に限定するものではなく、その要旨の範囲内で種々に変更できることは勿論である。

また、ジッパー付き樹脂フィルム製袋としては、原反の樹脂フィルムにジッパーを溶着して製袋したもの他、ジッパーが一体化されている 20 樹脂フィルムを使用して製袋したものであってもよい。さらに、ジッパーは対向する凹凸部を2列に設けた、いわゆるダブルジッパー構造であってもよい。

産業上の利用可能性

25 以上のように、本発明に係る閉止専用スライダは、ジッパー付き樹脂フィルム製袋の開口部から外れても容易に再装着することができ、ジッ

パー付き樹脂フィルム製袋のスライダとして有用である。また、本発明に係る閉止専用スライダ及び開閉用スライダは、ジッパーの閉止動作及び／又は開放動作をスムーズに開始させることができ、ジッパー付き樹脂フィルム製袋のスライダとして有用である。

請 求 の 範 囲

1. 樹脂フィルム製袋の開口部に位置する一対のフラップ部の対向する内面に、互いに嵌合／解除可能な凸部と凹部とからなるジッパーを設けたプラスチック製袋の該ジッパーの閉止専用スライダにおいて、
- 5 前記スライダは、前記フラップ部の外側に位置する一対の側脚片と、フラップ部の内側に位置して前記ジッパーには届かない長さの中脚片とを備え、かつ、スライダの上部から一側部にわたって前記中脚片と前記側脚片とでフラップ部を挟み込むスリットが形成されていること、
- 10 を特徴とする閉止専用スライダ。
2. 樹脂フィルム製袋の開口部に位置する一対のフラップ部の対向する内面に、互いに嵌合／解除可能な凸部と凹部とからなるジッパーを設けたプラスチック製袋の該ジッパーの閉止専用スライダにおいて、
- 15 前記スライダは、前記フラップ部の外側に位置する一対の側脚片と、フラップ部の内側に位置して前記ジッパーには届かない長さの中脚片とを備え、かつ、前記中脚片の側部が前記側脚片から露出していること、
- 20 を特徴とする閉止専用スライダ。
3. 前記側脚片が部分的に切り欠かれていることにより前記中脚片の側部が露出していることを特徴とする請求の範囲第2項に記載の閉止専用スライダ。
- 25 4. 前記中脚片が前記側脚片より側方に突出することにより中脚片の側部が露出していることを特徴とする請求の範囲第2項に記載の閉止専用スライダ。

5. 前記側脚片が部分的に切り欠かれていると共に前記中脚片が側脚片より側方に突出することにより中脚片の側部が露出していることを特徴とする請求の範囲第2項に記載の開止専用スライダ。

5

6. 樹脂フィルム製袋の開口部に位置する一対のフラップ部の対向する内面に、互いに嵌合／解除可能な凸部と凹部とからなるジッパーを設けたプラスチック製袋の該ジッパーの開閉用スライダにおいて、

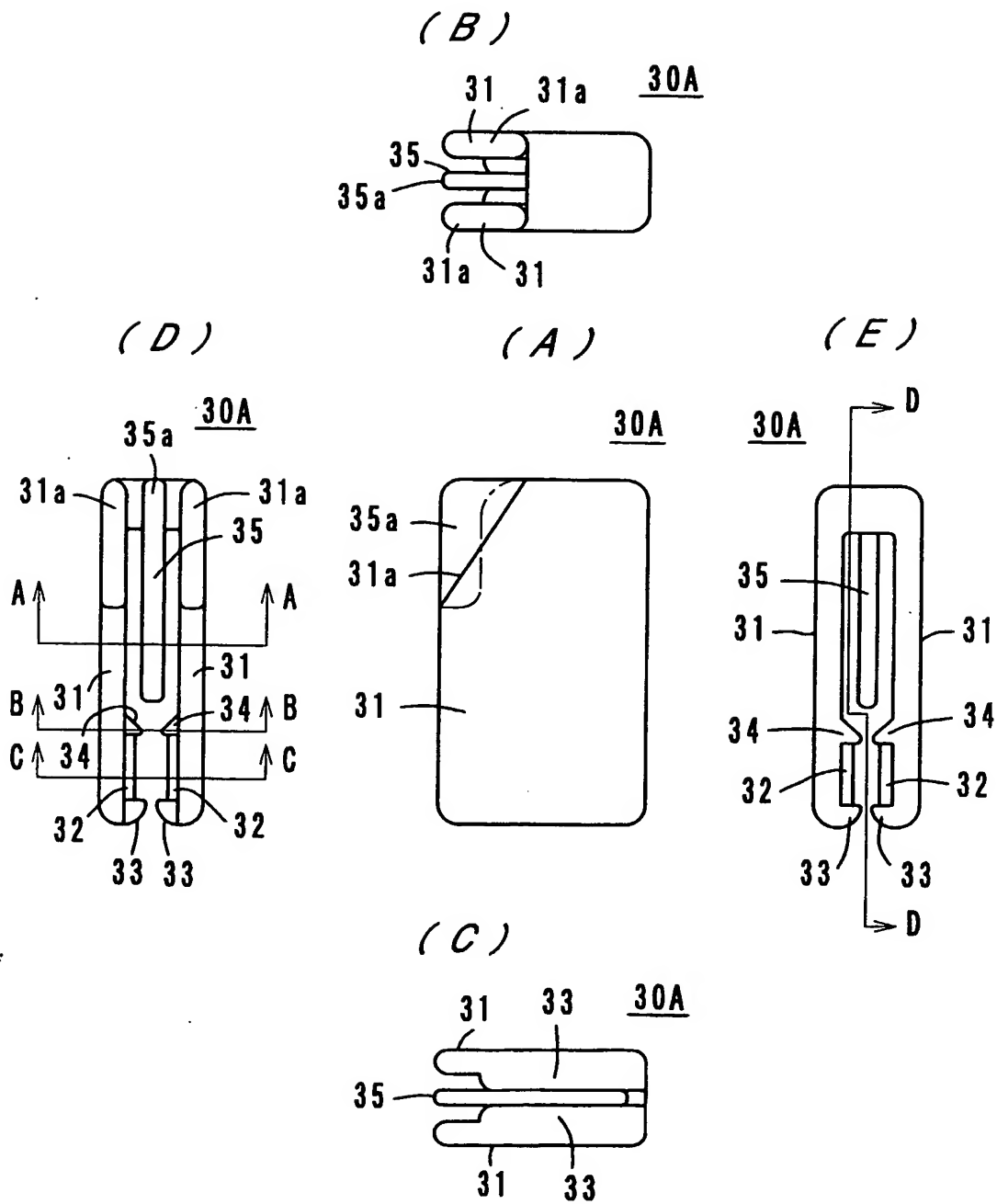
前記スライダは、前記フラップ部の外側に位置する一対の側脚片と、
10 フラップ部の内側に位置して前記ジッパーよりも袋の奥側まで延在する長さの中脚片とを備え、

前記側脚片が部分的に切り欠かれていると共に前記中脚片が側脚片より側方に突出することにより中脚片の側部が露出していること、

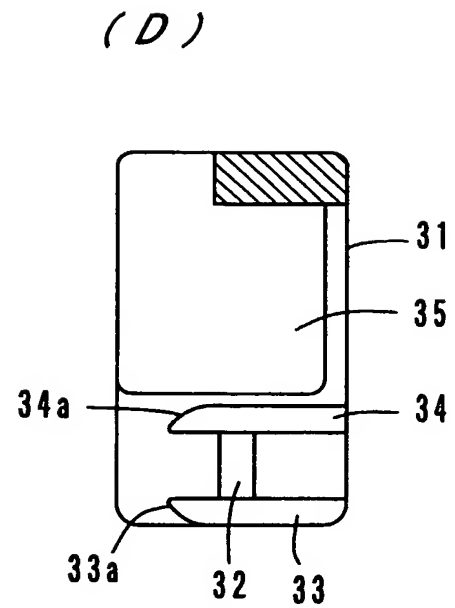
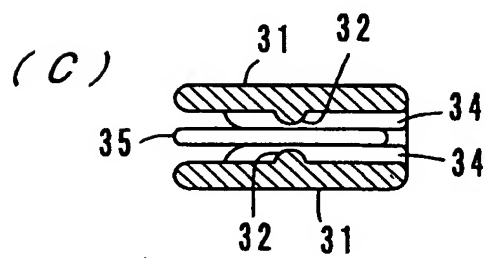
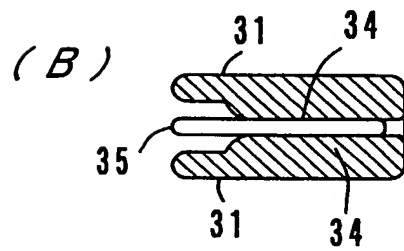
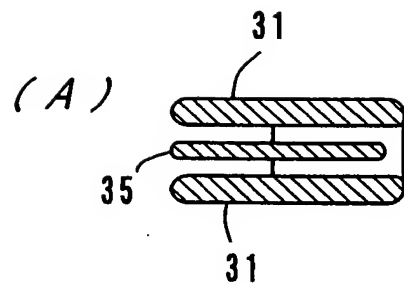
を特徴とする開閉用スライダ。

15

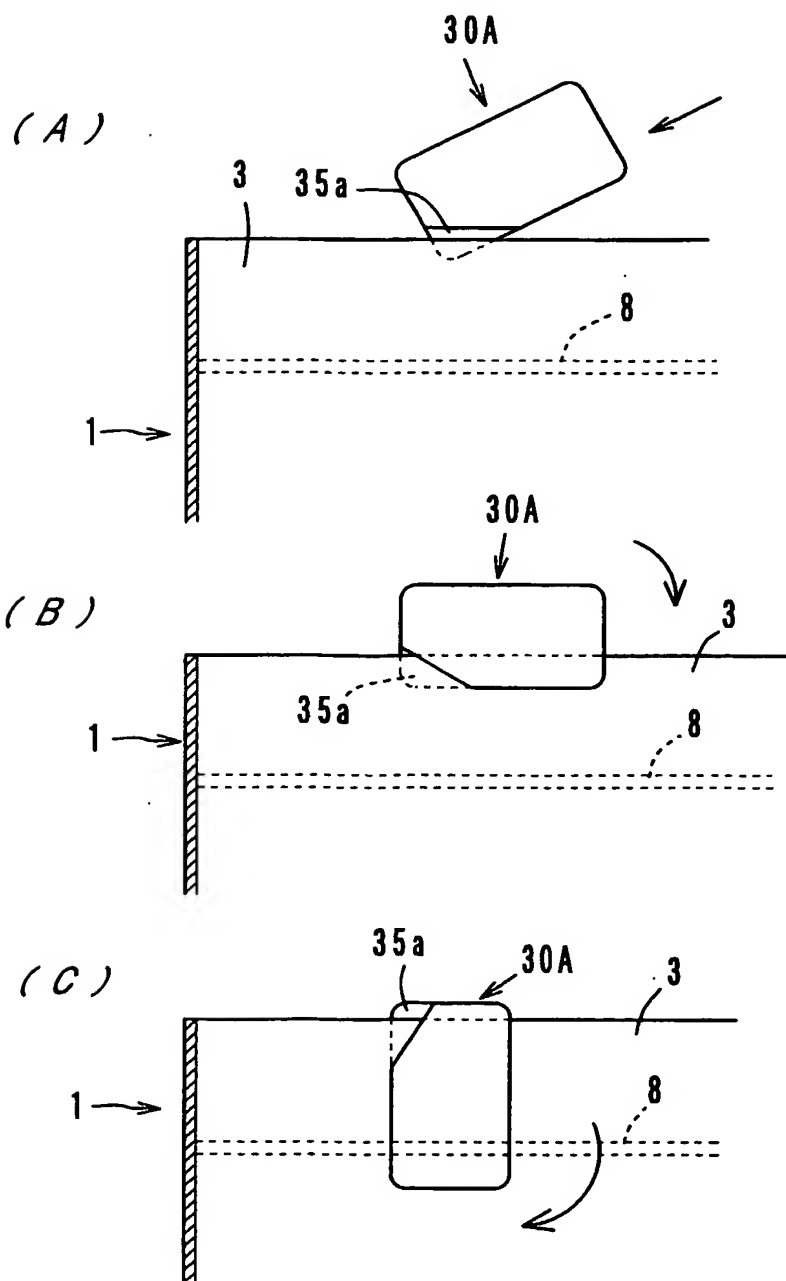
第 1 図



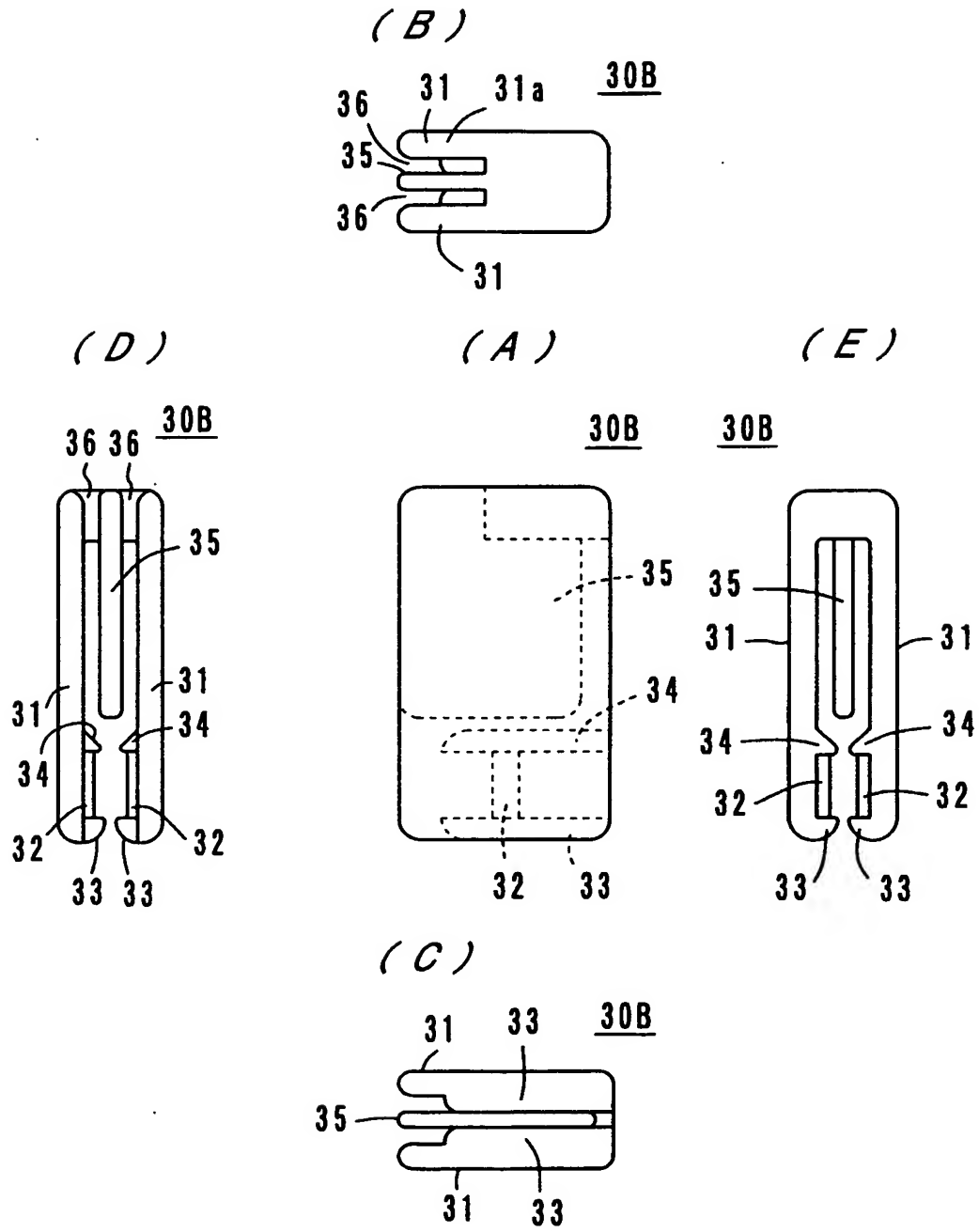
第 2 図



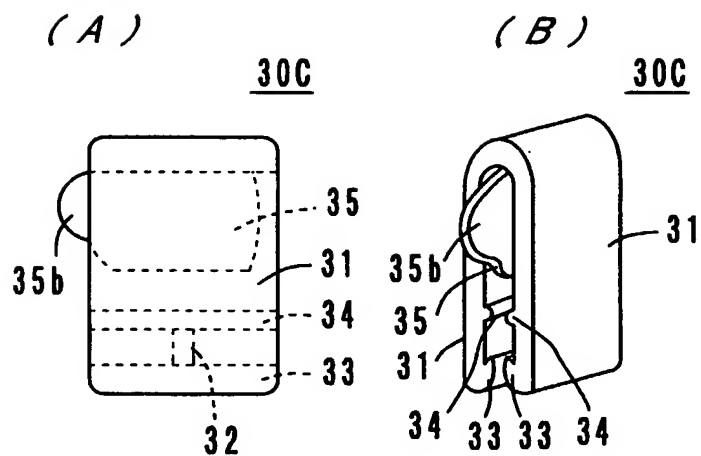
第 3 図



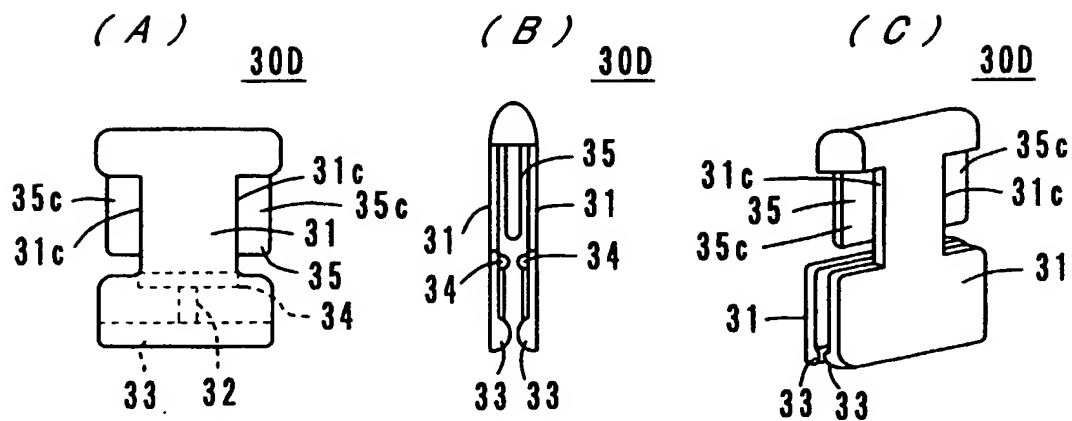
第 4 図



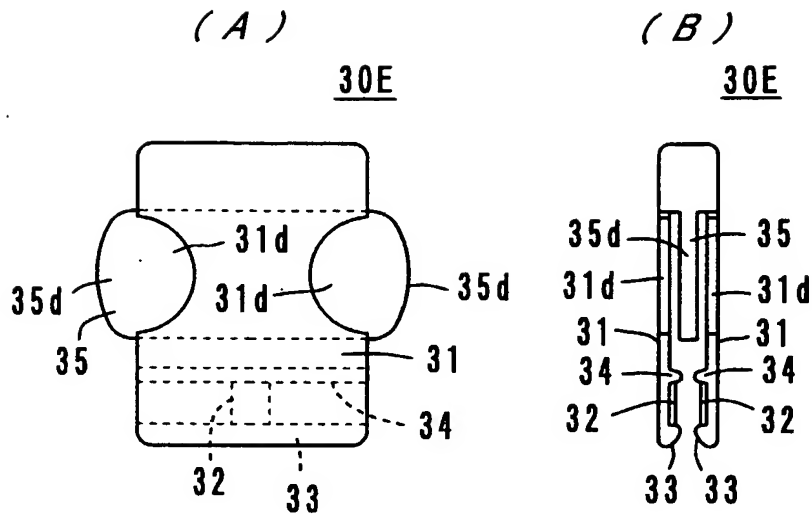
第 5 図



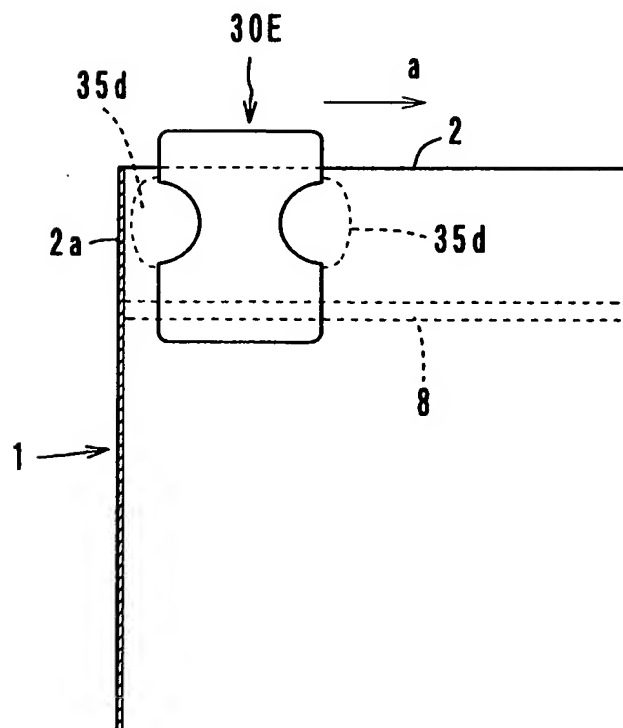
第 6 図



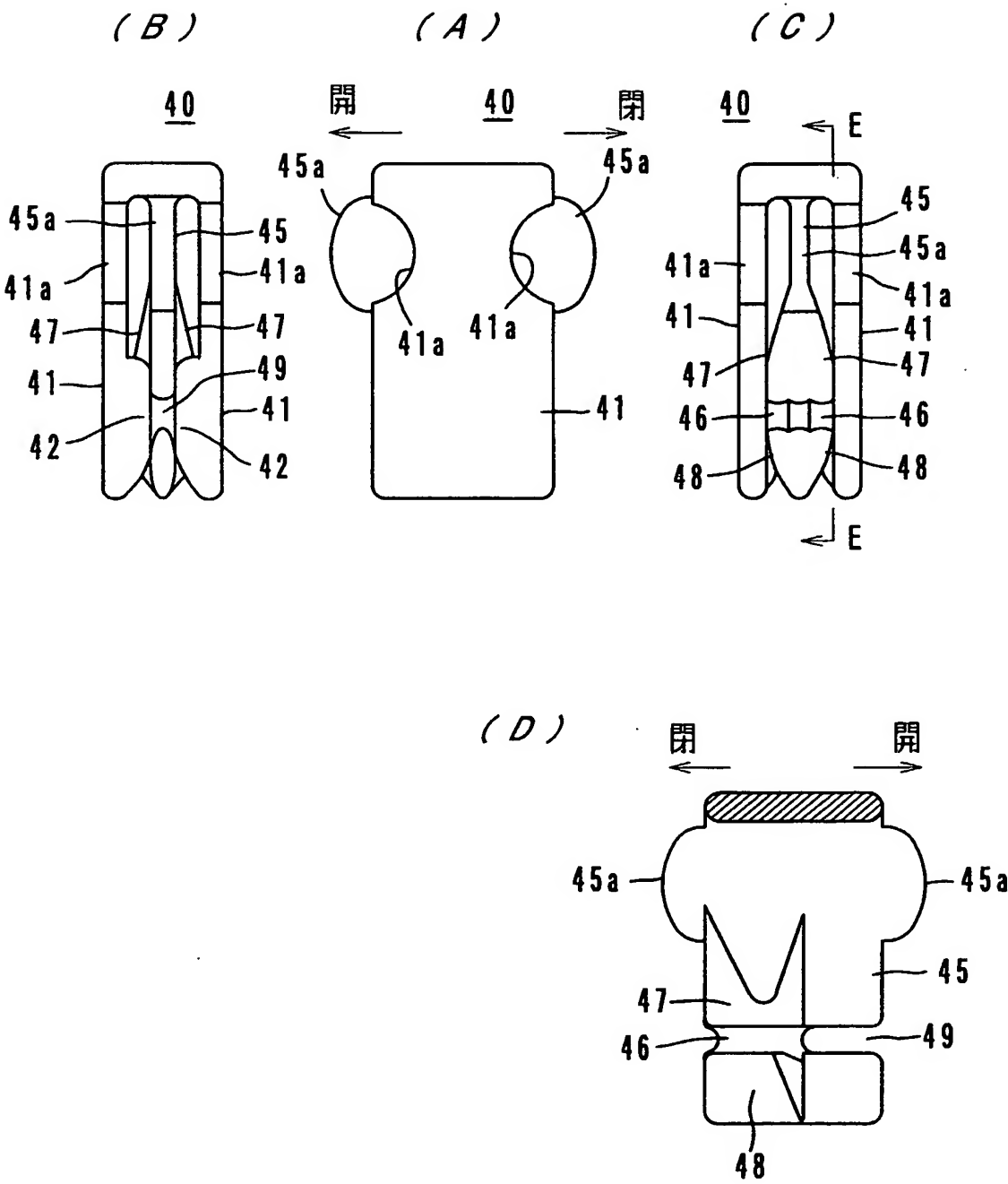
第 7 図



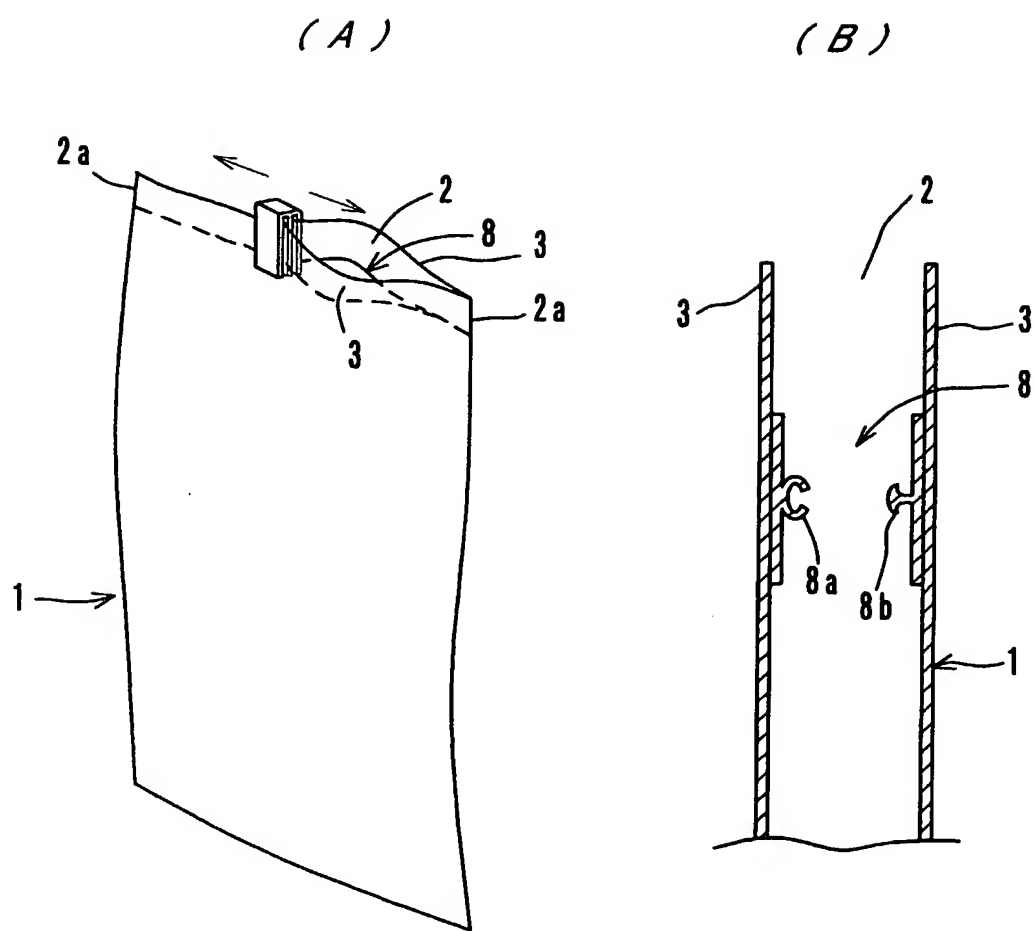
第 8 図



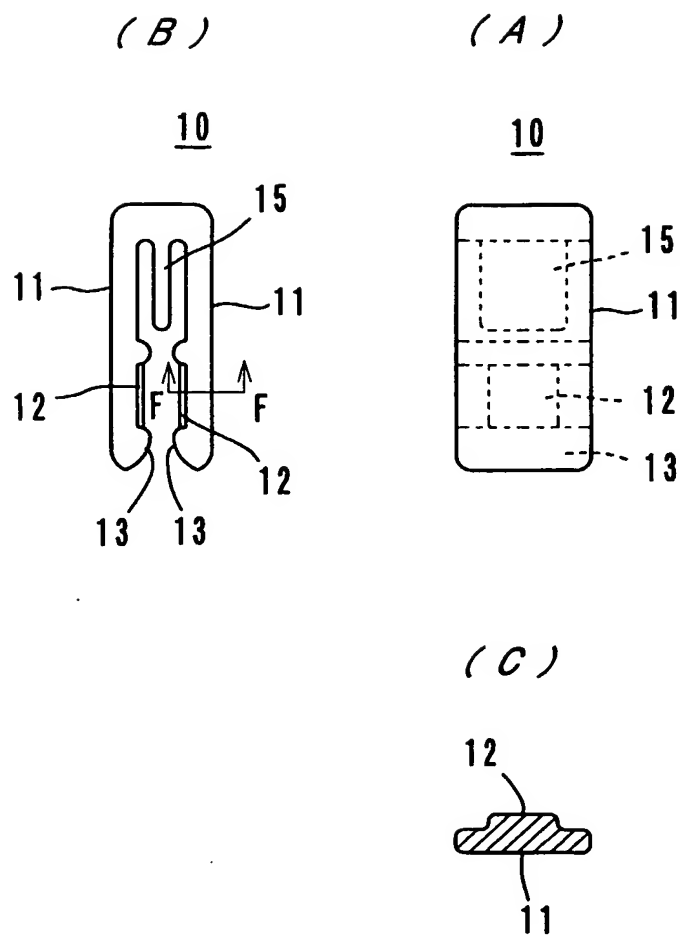
第 9 図



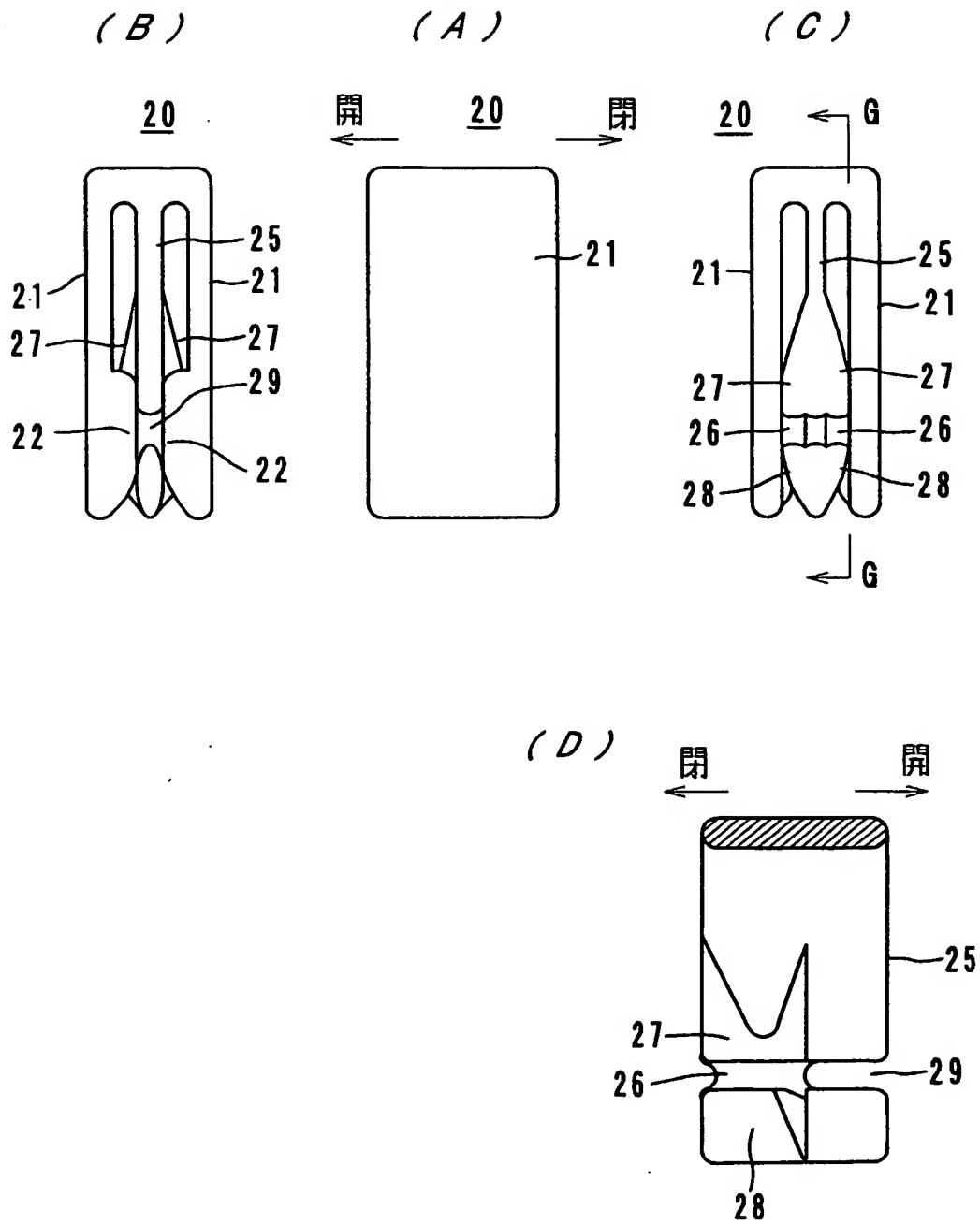
第 10 図



第 1 1 図



第 1 2 図



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP02/10133

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
Int.Cl⁷ B65D33/25

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl⁷ B65D33/25, A44B19/26

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2002
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2002	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2002

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X Y	US 6287001 B (Reynolds Consumer Products, Inc.), 11 September, 2001 (11.09.01), Full text; Figs. 1 to 14 & CA 2307685 A	1, 2, 4 3, 5
X Y	JP 2000-23716 A (Kabushiki Kaisha Shinwa), 25 January, 2000 (25.01.00), Full text; Figs. 1 to 7 (Family: none)	6 3, 5

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:
 "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
 "E" earlier document but published on or after the international filing date
 "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
 "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
 "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
 "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
 "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
 "&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
03 December, 2002 (03.12.02)Date of mailing of the international search report
17 December, 2002 (17.12.02)Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ B65D33/25

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ B65D33/25, A44B19/26

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報 1922-1996年

日本国公開実用新案公報 1971-2002年

日本国登録実用新案公報 1994-2002年

日本国実用新案登録公報 1996-2002年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X Y	US 6287001 B (Reynolds Consumer Products, Inc.,) 2001.09.11, 全文, 第1図-第14図 & CA 2307685 A	1, 2, 4 3, 5
X Y	JP 2000-23716 A (株式会社新和) 2000.01.25, 全文, 第1図-第7図 (ファミリーなし)	6 3, 5

☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの

「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)

「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

03.12.02

国際調査報告の発送日

17.12.02

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

上尾 敬彦

3N

9828

電話番号 03-3581-1101 内線 3361